

自己有用感を高め、 いきいきと学校生活を送る生徒の育成 ～評価比較対照カードの作成と活用を通して～

特別研修員 生徒指導・教育相談 小林直也（中学校教諭）



生徒の実態

- ・自分の興味が向くことには積極的に取り組む
- ・係活動等への取りかかりが遅い傾向が見られる

教師の願い

「自分から進んで協力できた」
「人の役に立って嬉しい」
という気持ちを持たせたいな



実践①（評価比較対照カード①） 川越旅行を振り返ろう

（ ）に向けて
（伊予大野原（丸山）の） 友だちと自分自身ができることを考えよう

自己評価 A B C D

友だちから

友達からの評価を聞いた感想

友達からの
自分の活動に対する
肯定的評価の記述

人の役に立てて
うれしい・よかった

【自己有用感の高まり】

評価比較対照カード

- 自己評価と他者評価が1枚の紙面で比較・対照できるので、客観的な評価や振り返りが可能になる。
- 「肯定的に評価する」ことによって、生徒の自己有用感を高めることができる。
- 自分に自信を持つことで、人のために自分ができることについて考えることができる。

実践②（評価比較対照カード②）

ターゲットバードゴルフ大会の活動の様子をお互いに評価しよう

（ターゲットバードゴルフ大会）に向けて
（伊予大野原（丸山）の） 友だちと自分自身ができることを考えよう

自己評価 A B C D

友だちから

友達からの評価を聞いた感想

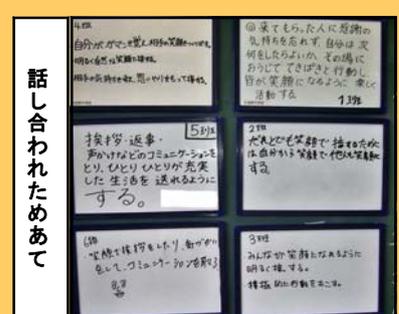
友達からの
自分の活動に対する
肯定的評価の記述

人の役に立てて
うれしい・よかった

【自己有用感の高まり】

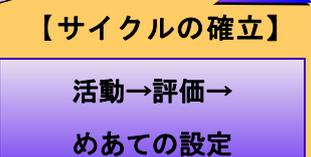
高まった生徒の自己有用感を基に生活のめあてについて考えられるようにカードを改善

評価比較対照カード①を使って、人から認められるとうれしい、人のよいところを見付けるとうれしいという経験を生徒に持たせました。



普段の実践へ

普段の生活の中で、教師がモデルとなって、生徒の実践を促します。
【肯定的評価を生かし、周りへの動きかけに】



評価比較対照カード②を使い、高まった生徒の自己有用感を基に、みんながいきいきと生活できるようめあてについて話し合います。

成果と課題（成果…◎ 課題…○）

- ◎評価比較対照カードを活用することにより、自己評価と他者評価が1枚の紙面で比較・対照することが可能になるとともに、自分自身の行動を多面的に振り返ることができた。
- ◎「学校行事等→自他の評価を基にした自分自身の振り返り→今後の生活に向けためあての設定」というサイクルを確立することによって、生徒の自己有用感が高まり、それにより充実した学校生活を送ることができると感じる生徒が多く見られた。
- 道徳の授業と関連付けて指導することや、各教科の授業の中で生徒同士の関わり合いや認め合い活動を取り入れるなど、計画的・継続的に自己有用感を高める指導をしていくことが必要である。